

日本住を快適空間!

# ダンネット通信

2010.Autumn vol.70

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

## エコポイント拡充・フラット35金利優遇延長

円高や失業率の高止まりなどによって景気の回復がなかなか進まない中、政府は閣議決定で住宅エコポイントの延長および対象拡充と、フラット35 S（優良住宅取得支援制度）の金利引下げ延長を打ち出しました。いずれも今年の新築・リフォーム需要を刺激し、住宅の性能向上にも一定の効果を果たしているだけに、今回の措置は住宅市場のさらなる活性化が期待できそうです。

### 太陽熱給湯などもポイント対象に

住宅エコポイントは、9月の閣議決定で、新築・リフォームとともに平成23年12月31日まで着工した工事を対象とし、ポイントの申請期限は平成24年6月30日まで（戸建ての場合）、ポイント交換期限は平成26年3月31日までと、いずれも当初より1年間の延長が決定しました。

また、10月の閣議ではポイントの発行対象に住宅用太陽熱給湯システム（ソーラーシステム）と節水型便器、高断熱浴槽を追加する方針を固め、平成22年度補正予算成立後に実施する予定です。

これらの設備機器はいずれも現行制度で対象としている新築・リフォーム工事とあわせて設置することが前提で、節水型便器と高断熱浴槽はリフォーム工事で設置する場合のみ対象となります。

### 詳細決まり次第ホームページで公表

発行ポイント数はそれぞれ2万ポイントとなる見込みで、ソーラーシステムは集熱器と貯湯槽が分離した強制循環型、節水型便器は1回の洗浄水

量が6.5ℓ以下のJIS節水Ⅱ型、高断熱浴槽は経済産業省と日本建材・住宅設備産業協会が来年3月末をメドに原案を策定しているJIS規格にそれぞれ適合する製品となる予定。詳細は決まり次第、住宅エコポイントのホームページで公表されるということです。

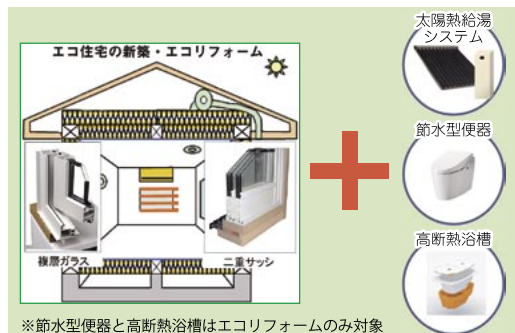
現時点の予算枠は、2412億円。9月末時点のポイント発行数は約246億円分相当なので、予算消化率は1割程度です。

### メリット大きい 1.0%金利引下げ

住宅金融支援機構の長期固定金利ローン・フラット35 Sは、当初10年間の金利引下げ幅を0.3%から1.0%に拡大する措置が1年間延長され、平成23年

12月30日申込分まで適用となりました。例えば借入れ200万円、金利2.16%の30年返済の場合、総返済額は金利引下げ前の2720万円より200万円近く安くなる計算です。

いずれも、エンドユーザーの関心が高まっているだけに、受注獲得のきっかけとしてうまく利用したいものです。



※節水型便器と高断熱浴槽はエコリフォームのみ対象  
制度拡充後の住宅エコポイントは太陽熱給湯システムや節水型便器、高断熱浴槽もポイント発行の対象になる

特集

# 関東に『DAN壁』を使用した高性能住宅が登場

長期優良住宅の普及や住宅エコポイント、税制優遇などで住宅の性能向上が進む中、このほど『DAN壁』(だんぺき)を採用した高性能住宅が埼玉県上尾市で完成しました。建設したのは健康・安心・安全の家づくりをテーマとする(株)アライ様(群馬県高崎市、新井政広社長)。快適性・省エネ性はもちろん、漆喰や杉、檜などで仕上げた心地よい室内空間も大きな魅力となっています。

## 純和風デザインと高断熱・高气密を両立

この住宅のオーナー・Sさんは、純和風のデザインと高い断熱・気密性を有する住まいを望んでいました。(株)アライ様に新築を依頼したのも、同社の純和風デザインや、断熱・気密化について勉強熱心な企業姿勢に共感したことが大きな決め手となったそうで、入居してから毎日快適な暮らしを送っています。

特に「以前の家では10月から11月にかけて、寒い日はこたつを出していたほどでしたが、この家では暖房なしでも暖かいんです」とSさんは言います。その暖かさの秘密は高い断熱・気密性能にありました。

真壁造りの外壁は、キュービックブローエー



腰屋根を設けた純和風の外観

ス100mmを吹き込み、その屋外側に耐力面材のダイライトを張ってから『DAN壁』50mmを施工した150mm断熱。基礎は布基礎外側にグラスウールボード48K60mm、内側に同25mmを施工した両側断熱。天井はキュービックブローエース400mmを吹込んでいます。また、窓に関しては南面以外にPVCサッシ・トリプルガラスを採用しています。

## 熱損失係数は1.6Wと北海道レベル

住宅の熱損失係数(Q値)は1.6W/m<sup>2</sup>Kと、埼玉県が該当する次世代省エネルギー基準IV地域の基準値である2.7W/m<sup>2</sup>Kを大きく上回り、積雪寒冷地である北海道・I地域レベルの断熱性能を確保。晩秋・初冬に暖房なしで暖かく暮らせる



室内の床は檜、腰壁と天井は杉、壁は漆喰で仕上げている

のも領けます。

このような高い断熱性能を十分発揮させるためには、高い気密性能も必要不可欠。特に真壁造りでは室内に現しとなる柱回りの気密層の連続が重要なポイントになりますが、この住宅では柱の両側ある受け材の上で0.2mm厚の防湿・気密シートを気密テープで留め付けてからボード張りすることで、柱回りをしっかり気密化。コンセント部分も専用の気密コンセントボックスを使用するなど、細部まで丁寧でしっかりした気密施工が行われています。

このほか、室内は床に檜、腰壁と天井に杉を使い、壁は漆喰で仕上げるなど、Sさんが望んだ純和風のデザインを人と環境に優しい自然素材で実現しました。

## RC造の断熱改修にも使える

(株)アライ様が『DAN壁』を採用したのは、この住宅が2軒目。1棟目は自社の社屋で、断熱改修に使用しました。そして3棟目として70坪のRC造の断熱改修にも採用中です。

同社の新井社長は「製品自体はとて面白いと思いますし、付加断熱で使う場合は、グラスウールよりも施工性はいいですね。特にRC造の建物を断熱改修する場合に適しているのではないのでしょうか。仕上げとしてモルタル・リシンなども使えるようになれば、より採用しやすくなると思います」と話しています。



外張り付加断熱材として施工された『DAN壁』



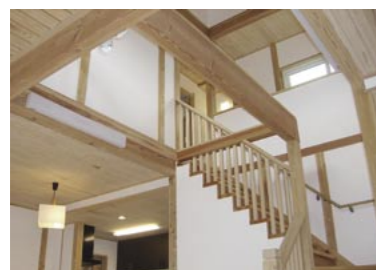
防湿・気密シートで丁寧かつ確実に気密化されている



コンセントも気密化専用部材を使用



布基礎はグラスウールボードで内外両側から断熱



開放感ある居間の吹抜け



落ち着いた雰囲気のある玄関



出入り可能なPVCサッシの引き違い窓にはシャッター式雨戸を取り付けている

## 10月から仙台事務所開設 ～『DAN壁』など東北6県に提供～

ダンネツでは、10月から宮城県仙台市に仙台事務所を開設しました。仙台事務所では東北6県を営業エリアとし、簡単な施工で付加断熱と多彩な湿式外装のデザインを提案できる木造用外断熱パネル『DAN壁(だんぺき)』を中心に、型枠兼用断熱材の『かんたんベース』、床断熱パネルの『根太レスパネル』なども含めて自社ブランドの断熱製品を提供していきます。

当社ではこれまで道内と関東で住宅の高断熱化や生産性の向上を提案してきましたが、今回の仙台事務所開設によって北海道から関東までの東日本地域をカバーできる体制が整ったこととなります。

仙台事務所の住所・電話・FAX番号は次の通り。

〒983-0037 仙台市宮城野区平成2-18-38、☎090-1378-5494・FAX048-783-1667 (FAXは北関東支店と併用)。



『DAN壁』を断熱改修で採用された

お客様の声をネットで紹介！

簡単な施工で付加断熱と多彩な湿式外装のデザインを提案できる木造用外断熱パネル『DAN壁(だんぺき)』を断熱改修で使用されたエンドユーザーの方の体験談が、インターネット上で好評公開中です。

この体験談は(株)北海道住宅新聞社が運営するホームページの『建材レビュー』に掲載。北海道札幌市で築10年の自宅を断熱改修した細川さんが、『DAN壁』を採用したきっかけから、施工中の様子、そして改修後の暮らし、住宅エコポイントの利用などまでを紹介しています。施工中の写真も多く掲載し、環境に配慮して廃棄物を抑えるために、既存外装材を残しながらどのような手順で改修が行われていったのかもわかるようになっています。

これから断熱改修を手がけるハウスメーカー・工務店様にとって、参考になるところも多いと思いますので、ぜひ一度ご覧になって下さい。



<http://www.iesu.co.jp/review/>

●編●集●後●記●

▲住宅エコポイントが1年延長になりました。来年度からは対象となる新築やリフォームと一緒に設置する省エネ設備にもポイントを与える話があるようで、エンドユーザーにより高断熱な住宅を提案しやすくなりそうです。(野村)

▲北海道は猛暑から一転して肌寒い季節になりました。これまで暑くて仕事がはかどらず、工期が遅れ気味という声を多く聞きましたが、今度は急な冷え込みで風邪を引いたりしないようご注意ください頂ければと思います。(水越)



株式会社ダンネット

ホームページURL <http://www.dan-netsu.co.jp/>  
E-mailアドレス [info@dan-netsu.co.jp](mailto:info@dan-netsu.co.jp)

『快適な住まいづくり』はお任せ下さい！

- ブローイング工事各種
- 外断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3969 FAX(011)871-3502
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町西割4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■仙台事務所	〒983-0037 宮城県仙台市宮城野区平成2-18-38	TEL(090)1378-5494 FAX(048)783-1667
■ダンネット信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016